

# 議会 ながのはらまち だより

2024  
APRIL  
4  
No.139

2月臨時会や3月定例会の内容をお伝えします



表紙：浅間小学校開校式



QRコードから議会  
だよりをダウンロード  
できます



# 2月臨時会・3月定例会で こんなことがきました

## ○ 2月臨時会 (会期2/14)

条例改正	.....	1 件
補正予算	.....	1 件
その他	.....	1 件
<b>合 計</b>	.....	<b>3 件</b>

主なものを当誌より掲載します。

## ○ 3月定例会 (会期3/5-19)

専決処分	.....	1 件
人事案件	.....	1 件
条例改正	.....	5 件
補正予算	.....	9 件
当初予算	.....	8 件
その他	.....	3 件
<b>合 計</b>	.....	<b>27 件</b>

## 施政方針演説 「長野原町の 未来への挑戦」



令和6年3月第1回長野原町議会定例会は会期を3月5日から19日までの15日間として、同月5日・12日・19日に本会議を開催しました。

### 概要 全27議案 原案のとおり可決

3月定例会において、条例改正5件、令和6年度各会計予算8件など全27議案（詳細3ページ）を原案のとおり可決しました。

なお、定例会3日目には一般質問が行われ、議員7名が登壇しました。

(関連12ページ〜19ページ)

### 演説 令和6年度 施政方針演説行う

3月定例会初日（5日）に萩原町長による令和6年度施政方針演説が行われました。当演説では、「つなぐ」「育てる」「共に創る」という3つのテーマのもと、「未来への挑戦」を視野に入れ、選挙公約で掲げた8つの目標を乗り越えることで町全体の生きる力を育んでいくと、所信表明が行われました。

■ 2月臨時会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
議案	1号	手数料条例の一部を改正	戸籍法改正に伴う戸籍等証明書の手数料について改正するもの	4
	2号	町長において専決処分することができる事項の指定についての一部改正	工事請負契約の変更事項及び群馬県市町村総合事務組合の構成市町村の増減等の事項について効率的な行政運営のため改正するもの	—
	3号	令和5年度一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出の総額に2250万9千円を加え、総額を51億4502万6千円とする	6

■ 3月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
承認	1号	専決処分の承認(吾妻広域町村圏振興整備組合規約の変更)	吾妻広域町村圏振興整備組合の事務所移転に伴い住所変更を行う必要が生じたため	—
諮問	1号	人権擁護委員候補者の推薦	委員の任期満了に伴う山口百合子氏(再任)の推薦について意見を求めるもの	—
議案	1号	群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議	富岡市及び榛東村が新たに加入及び負担金の算出方法の改正を行うため	—
	2号	権利放棄につき議決を求めること	吾妻広域消防本部西部消防署長野原分署の施設の老朽化に伴い建設資金に充当するため権利放棄するもの	—
	3号	監査委員条例の一部改正	地方自治法の改正に伴い、改正するもの	—
	4号	介護保険条例の一部改正	令和6年度から令和8年度までの3年間適用される保険料率の改定を行うもの	4
	5号	過疎対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正	失効規定の期限を過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の失効期限と整合を図るため改正するもの	—
	6号	道路占用料徴収条例の一部改正	道路法施行令の改正に伴い、改正するもの	—
	7号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	町史編さん審議会及び町立学校の学校運営協議会の設置に伴い、改正するもの	—
	8号	資源リサイクルセンターの指定管理者の指定	長野原町資源リサイクルセンター利用組合 組合長 恩田明氏を令和6年4月1日より5年間指定管理者とするもの	5
	9号	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出の総額に5億1744万7千円を加え、総額を56億6247万3千円とする	6
	10号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出の総額から8104万9千円を減額し、総額を6億6238万7千円とする	
	11号	令和5年度へき地診療所特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出の総額に54万2千円を加え、総額を1億827万1千円とする	
	12号	令和5年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出の総額から400万円を減額し、総額を9987万円とする	
	13号	令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出の総額から700万円を減額し、総額を1億515万3千円とする	
	14号	令和5年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出の総額から700万円を減額し、総額を1億323万3千円とする	
	15号	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出の総額から5646万6千円を減額し、総額を6億6385万円とする	
	16号	令和5年度浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出の総額から190万円を減額し、総額を615万2千円とする	
	17号	令和5年度北軽井沢簡易水道事業会計補正予算(第2号)	収益的支出の予算の組み替えをするもの	—
	18号   25号	令和6年度一般会計・4特別会計・3事業会計予算	令和6年度の各会計予算を定めるもの	8—11

**条例改正**

## 介護保険条例の一部改正

介護保険法に基づき3年ごとの見直しが行われ、令和6～8年度まで適用される保険料の改定を可決しました。国の指針に伴い、介護保険制度の持続的運営を図るため、所得段階をこれまでの9段階から13段階に変更します。



■介護保険料の新旧対照表（第4段階～第8段階は変更なし）

段階	説明	改正前 年額(月額)	改正後 年額(月額)	
負担軽減	1	生活保護受給者、世帯全員が町民税非課税かつ本人の年金収入が80万円以下の方	19,500円 (1,625円)	18,500円 (1,541円)
	2	世帯全員が町民税非課税かつ本人の年金収入が80万円超120万円以下	32,400円 (2,700円)	31,500円 (2,625円)
	3	世帯全員が町民税非課税かつ本人の年金収入が120万円超	45,400円 (3,783円)	44,400円 (3,700円)
4区分を新設し 負担引き上げ	9	町民税課税かつ合計所得金額が320万円以上420万円未満	110,200円 (9,183円)	変更なし
	10	町民税課税かつ合計所得金額が420万円以上520万円未満	新設	123,200円 (10,266円)
	11	町民税課税かつ合計所得金額が520万円以上620万円未満	新設	136,100円 (11,341円)
	12	町民税課税かつ合計所得金額が620万円以上720万円未満	新設	149,100円 (12,425円)
	13	町民税課税かつ合計所得金額が720万円以上	新設	155,600円 (12,966円)

**条例改正**

### 手数料条例の一部改正

## 戸籍証明書等の取得や戸籍の届出が便利になります!!

令和6年3月1日から、本籍地以外の市区町村の窓口でも、戸籍証明書等を請求（広域交付）できるようになります。これによって、本籍地が遠くにある方でも、お住まいや勤務先等の最寄りの市区町村の窓口で請求できます。また、戸籍届出時の戸籍証明書等の添付が原則不要となります。

**特別委員会**

### 「国県道改良等促進特別委員会」を開催しました

令和6年2月1日（木）、役場委員会室において、群馬県中之条土木事務所長野原事業所長より事業所における今年度実施している事業について進捗説明を受けました。





## 長野原町資源リサイクルセンターの指定管理の指定について

長野原町資源リサイクルセンター利用組合による「資源リサイクルセンター」の指定管理期間満了に伴い、同組合を再び指定管理者とするものです。(左表参照)

### ■資源リサイクルセンターの指定管理者

**【指定管理者】**

団体名：長野原町資源リサイクルセンター  
利用組合

代表者：組合長 恩田 明 氏

**【指定の期間】**

令和6年4月1日～令和11年3月31日

# 請願・陳情

## 請願書・陳情書の提出の仕方

請願・陳情は、町議会と町民を直接つなぐ大切な手段です。町政についての意見や希望があるときは、だれでも提出できます。請願には、紹介議員の署名又は記名押印が必要ですが、陳情は不要です。

- 日本語を用いた文書で提出してください。
- 原則1件ごとに請願・陳情書を作成してください。
- 提出年月日、表題、住所、氏名(押印)、要旨、説明を記入してください。(請願の場合は加えて1人以上の紹介議員の署名又は記名押印)
- 必要に応じ地図や写真などの資料を、可能な限り添付してください。
- 意見(要望)書の提出を求める請願・陳情の場合は、意見(要望)書の案文と要請機関を添付してください。

### 書式例



## 陳情書(請願書)提出期限の変更について

陳情書及び請願書の提出期限について、令和6年6月議会定例会審議分より慎重審議を行うため下記のとおり提出期限を変更いたします。

お手数をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

変更前 提出期限 各定例会の前月末日

変更後 提出期限 各定例会の前月20日  
(閉庁日の場合は翌開庁日)

変更日 令和6年6月定例会から

令和6年度の  
提出期限

定例会	提出期限
6月	5月20日
9月	8月20日
12月	11月20日
3月	2月20日

## 請願・陳情の取り扱いについて

町議会では、受付された請願・陳情ともに取扱いの差は基本的にありません。

いずれも所定の手続きが整っていれば受理され、定例会で所管の常任委員会に付託された後、慎重に審議されます。

委員会での審議後、同一の定例会にて「採択」「不採択」「継続審査」などの決定がなされ、「採択」の場合は町や関係機関に対し、請願や陳情の実現を求めます。



# ふるさと応援寄付金増額

令和5年度一般及び7特別会計補正予算を全員一致で可決しました。今回の一般会計補正予算は5億3994万円の追加補正を行うもので、主に低所得世帯支援給付金（住民税均等割のみ課税者に対する給付金）やふるさと応援基金費などの事業を行うものです。

## 特別会計補正予算一覧（3月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
国民健康保険	△8104万円	6億6238万円
へき地診療所	54万円	1億827万円
簡易水道事業	△400万円	9987万円
農業集落排水事業	△700万円	1億515万円
公共下水道事業	△700万円	1億323万円
介護保険	△5646万円	6億6385万円
浄化槽整備事業	△190万円	615万円

（千円以下切捨）

### 一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

#### ■ 2月臨時会（2/14）

一般会計補正予算（第5号）

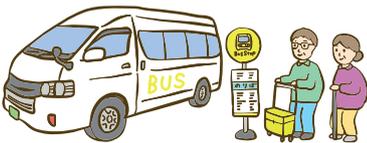
2250万円増額（計51億4502万円）

#### ■ 3月定例会（3/5）

一般会計補正予算（第6号）

5億1744万円増額（計56億6247万円）

## 主な補正内容



外出支援バス運行事業  
（14万円）



低所得世帯支援給付金  
（住民税均等割のみ課税者に対する給付金）  
（1857万円）



ふるさと応援基金費  
（871万円）

**答** 未来ビジョン推進課長  
金額での区分けは特  
にない。基本的には修  
繕で対応しているが、施  
設の駐車場や建物の不  
具合などについて高額に  
なるものは、まとめて工  
事として対応している。

**問** 星河議員  
工事費と修繕料の区分け  
の基準は。各施設との約  
束では20万円以上修理等  
は町にお願いすることに  
なっているが、20万円以  
上で区分けがあるのか。

**答** 未来ビジョン推進課長  
議員ご質問のとおり  
地域振興施設の補修工  
事などによるもの。その  
ほか修繕料もある。

**問** 星河議員  
地域振興施設管理事業の  
工事費が300万円減額  
されているが、地域振興  
施設の補修工事費などで  
良いか。

地域振興施設管理  
事業工事費の減額  
について

質疑応答



▲ 「医療×防災」講演会



▲ 3月全員協議会

## 3月全員協議会の内容を紹介します

○西吾妻福祉病院の経過について

新型コロナウイルスの他、インフルエンザが猛威を振るっていたが、1月に医療・防災講演会が開催され、三ツ木病院長より、地域住民の安心安全に繋がるよう地域に根ざした病院としていきたいと講演いただいたと報告を受けました。

○地域福祉計画及び地域福祉活動計画について

令和元年度に策定後、5年が経過したことに伴い、計画更新を行う。次期計画においても、地域住民が安心して暮らせるまちを基本理念に、継続して地域包括ケアシステムの長野原モデル構築を目指し、福祉の向上に努めていくと報告を受けました。

○高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画について

今回、策定する計画では、国の示す地域共生社会の考え方を踏まえつつ、継続して地域包括ケアシステムを推進すると共に、現役世代が急減する2040年に向けた視点も踏まえ、高齢者人口や介護ニーズを中長期的に見据えて、各種施策を推進する。なお、本計画において介護保険基準保険料は、変わらず据え置いたと報告を受けました。

○第4次障がい者計画、第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画について

今回、策定する計画では、近年の障がい者施策の動向や法制度の動向に対応するとともに、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことのでき

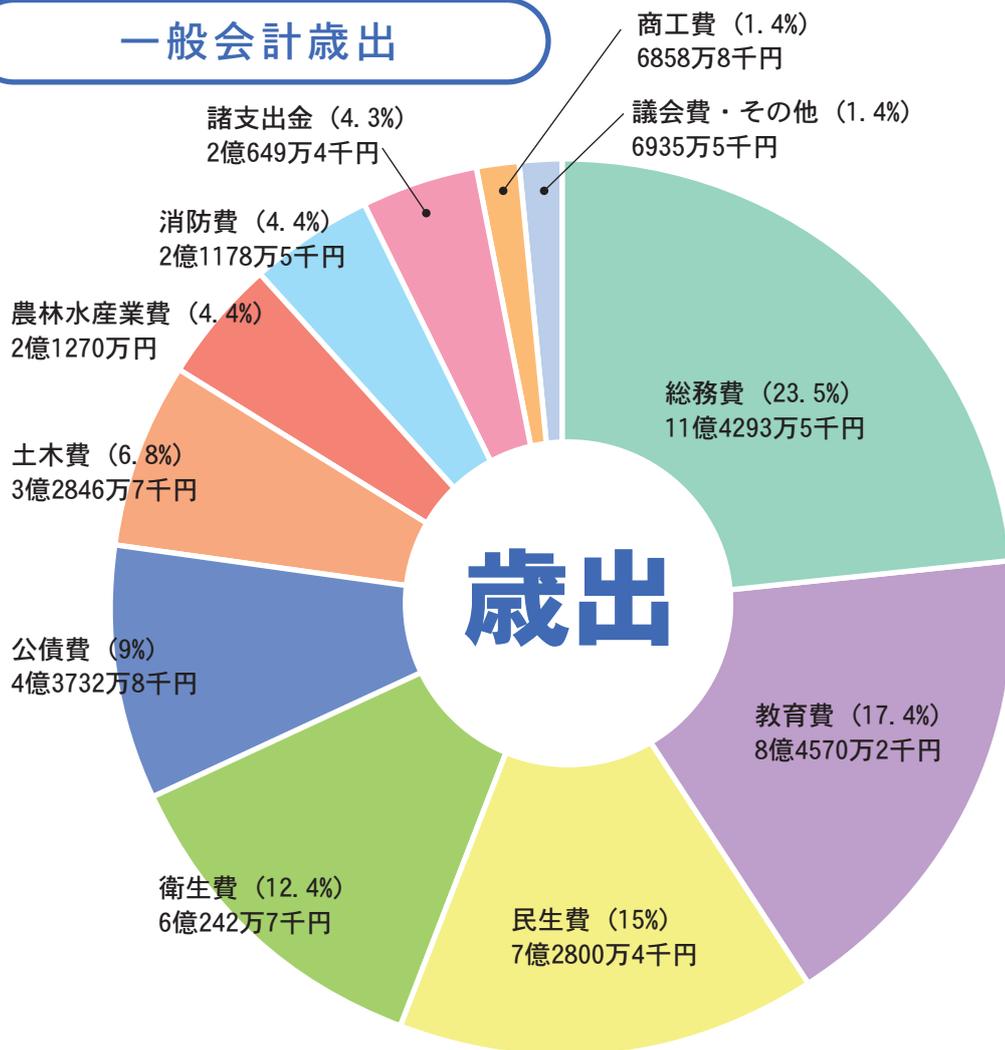
る共生社会を目指し、本計画を策定したと報告を受けました。

○群馬県内市町村国民健康保険税率の完全統一目標年度について

国民健康保険事業の運営の安定化を図ることを目的に、平成30年度から群馬県が市町村とともに国民健康保険を運営しているが、この度、国民健康保険税率の完全統一に向けたスケジュールが、群馬県より示されたと報告を受けました。



一般会計歳出



一般会計

## 「未来への挑戦」

令和6年度一般会計当初予算

# 48億5378万5千円

前年度より1億7440万1千円 **増**

町の令和6年度各会計予算を可決しました(3月12日・定例会)。今回可決となった一般会計当初予算は約48億円。予算の用途が限定される4特別会計や水道関連3公営企業会計は約26億円となっています。

### 質疑応答

空き家改修工事費について

**問** 杉崎議員 空き家改修工事費800万円

で何軒予定しているのか、場所は。

**答** 未来ビジョン推進課長 リノベーション住宅

1軒を予定している。場所はこれから建物公募を行い決定する。

防犯灯、防犯カメラの設置について

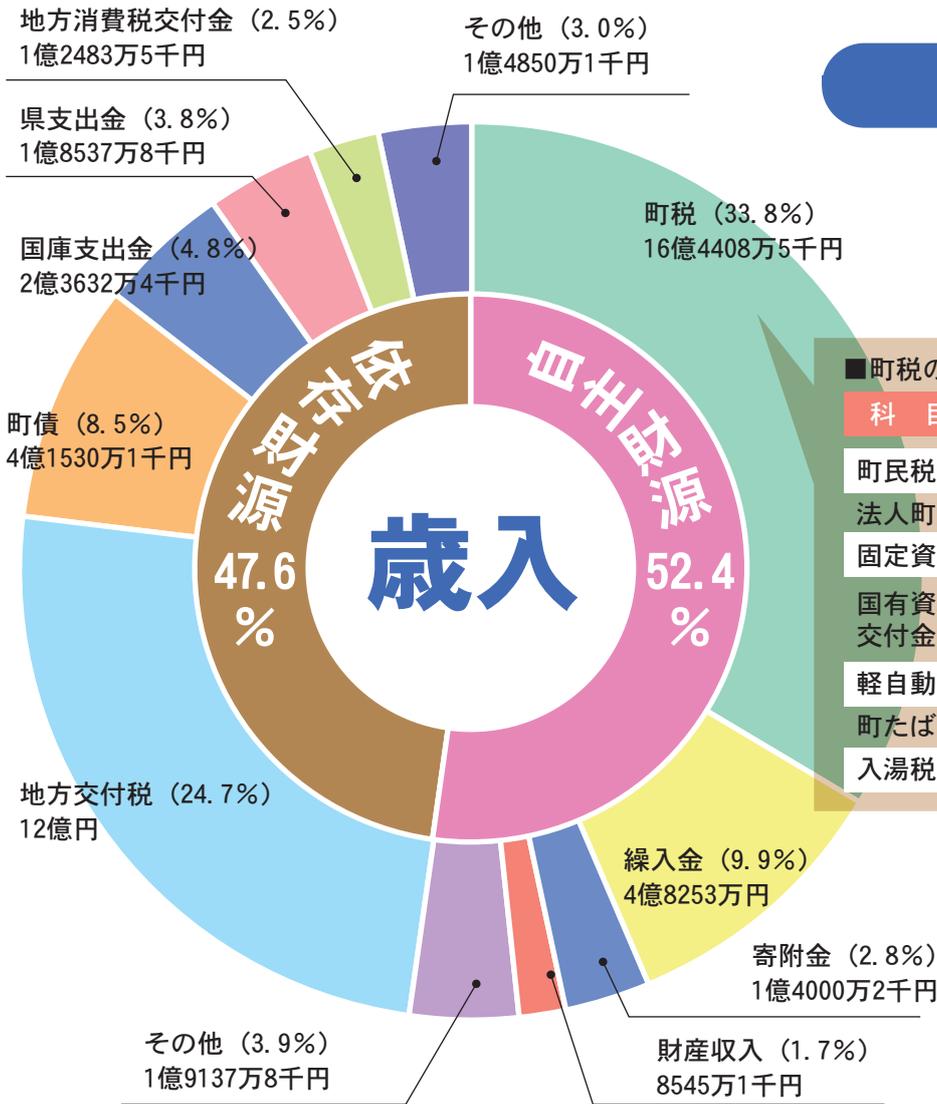
**問** 湯本議員 防犯灯及び防犯カメラの設置

場所は。

**答** 総務課長 防犯灯設置については、各地区

から今後要望書をいただき、実施していく。防犯カメラの設置については、応桑・大津地区に設置を予定している。

一般会計歳入



■町税の内訳

科目	本年度予算
町民税	2億1453万6千円
法人町民税	3928万9千円
固定資産税	5億4591万4千円
国有資産等所在市町村交付金及び納付金	7億5949万4千円
軽自動車税	2990万4千円
町たばこ税	4550万6千円
入湯税	944万2千円

※項目ごとに表示しているため合計金額及び構成比率に差異が生じる場合があります。

やんば天明泥流ミュージアムの赤字予算について

**問** 浅沼議員 入館料が810万円に対し、管理運営費が2019万6千円となっているが、当初予算から赤字計上するのはおかしい。前年度についても赤字があったが、赤字幅を少なくする努力をしたのか、今後の運営計画はどのように考えているのか。

**答** 教育課長 観光施設教育施設として、浅間の噴火災害を後世に伝えていく重要な施設である。赤字経営は良いことではないが、今年度末の入館見込みは1万人。入館料収入を伸ばせるよう教育旅行の誘致、周遊バスとの連携や職員によるイベントの開催など努力はしてきている。

**問** 浅沼議員 町民は入館料を支払う施設のため各種教育施設と同様のものとは考えていない。

黒字にするのは難しいが、できるかぎり赤字幅を圧縮していく気持ちは持って運営してもらいたい。

**答** 教育課長 引き続き課を超えた連携や周辺観光施設と連携を深めながら、誘客を促進していきたい。

ブランド化推進事業について

**問** 星河議員 来年度どう行うのか。

**答** 農林課長 ブランド化の実施状況は、町6次産業化等推進事業補助金を交付している。地域の声を聞きながら、マッチングして補助金使用できるように進めていたが、うまくいっていなかった。

令和6年度は周知の方法を変えたり、コンソーシアムの結果を踏まえて群馬県とともに推し進めていきたい。



## 特別会計

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	7億3680万7千円	99.7%
へき地診療所	1億1479万4千円	113.4%
介護保険	7億776万8千円	100%
後期高齢者医療	1億1276万2千円	108.4%

※簡易水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、浄化槽整備事業特別会計は令和6年度より公営企業会計に移行しました。

## 公営企業会計

会計名	予算額	前年度比
水道事業会計	収益的収入	2億6396万6千円 —
	収益的支出	2億6396万6千円 —
	資本的収入	2015万3千円 —
	資本的支出	8225万8千円 —
会計名	予算額	前年度比
浅間高原水道事業会計	収益的収入	4998万8千円 105.4%
	収益的支出	4998万8千円 105.4%
	資本的収入	500万円 100%
	資本的支出	7801万8千円 295.2%
会計名	予算額	前年度比
下水道事業会計	収益的収入	4億6064万3千円 —
	収益的支出	4億6064万3千円 —
	資本的収入	5188万8千円 —
	資本的支出	5188万8千円 —

## 町の基金(貯金)は いくら?

基金は町が特定の目的をもって条例で設置する資金や財産のことです。令和5年度末現在における主な町の基金状況は右表のとおりとなっています。



### ■主な基金状況(令和5年度末現在)

基金名	増減	残高
財政調整基金	△241万6千円	30億5896万1千円
減債基金	2億2636万8千円	9億6073万円
庁舎等公共施設整備備品等取得基金	100万9千円	2億100万9千円
多目的基金	5017万4千円	1億2423万4千円
地域福祉基金	7097万2千円	1億2446万2千円
教育施設等整備基金	△4526万5千円	2億9746万5千円
八ッ場ダム周辺整備事業基金	△4018万7千円	2億420万4千円
八ッ場ダム周辺整備事業施設管理基金	2607万1千円	23億8311万9千円
ふるさと応援基金	4087万5千円	2億319万7千円

## 全国町村議会議長会 町村議会議員特別表彰を受賞

令和6年2月8日、全国町村議会議長会第75回定期総会にて自治功労者表彰(町村議会議員特別表彰)が行われ、本町議会より黒岩議長が受賞されました。大変おめでとうございます。



▲表彰の伝達



### ☞ 公営企業会計は

⇒事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計のこと

令和6年度の主な事業を一部紹介します。  
一般会計当初予算は、第5次総合計画と第2期総合戦略に基づき、厳しい財源を有効活用し、必要な事業の継続及び拡充や新たな事業を予定しています。

# 町 **令和6年度** の主な事業



## ① 応桑小学校改修事業

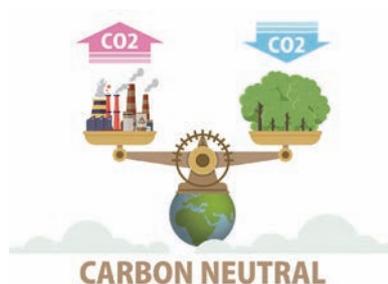
(2億8671万円)

診療所を移転し中核を担う施設とすることで、子どもから高齢者まで誰もが集うことのできる拠点施設にリノベーションします。

## ② 脱炭素・バイオマス産業都市推進事業

(221万円)

2030年までに、カーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させる脱炭素先行地域選定に向け計画を策定します。



## ③ タクシー利用助成事業

(553万円)

高齢者、障害のある方、運転免許を返納された方の移動や生活を支援するため、利用料金の一部を助成します。



## ④ 総合計画・総合戦略策定調査事業

(338万円)

令和7年度に町の最上位計画である総合計画と総合戦略を一体化するため、令和6年中に町民アンケート等を実施します。

## ⑤ スクールバス事業

(8603万円)

学校の統廃合により、旧第一小学校区、旧西中学校区のスクールバスに加え、令和6年度開校の浅間小学校の運行も始まります。



## ⑥ 除雪車購入事業

(4118万円)

30年以上使用し、老朽化した町所有の除雪機2台を購入する予定です。

町では他に7台保有しています。

# 一般質問 町の考えを問う

すぎざき 杉崎	よしひさ 能久	議員	(13分)	・公営塾の設置について ・つなぐカンパニーながのはらについて
ほしかわ 星河	あきひこ 明彦	議員	(14分)	・長野原町の未来のために 人口減少に対する取り組みについて
つちや 土屋	まさし 匡	議員	(15分)	・町道等の美化の推進について
あさぬま 浅沼	かつゆき 克行	議員	(16分)	・学校統合のメリット、デメリットについて
はぎわら 萩原	ひろみ 広美	議員	(17分)	・交通対策について
まきやま 牧山	あきら 明	議員	(18分)	・第2期町地域福祉計画、地域福祉活動計画を 町づくりにどう生かして行くのか
ゆもと 湯本	そういち 宗一	議員	(19分)	・ヤングケアラーの相談窓口と支援体制について

YouTubeで一般質問の様子を  
ご覧いただけます



一般質問とは、  
議員が町長などの執行  
機関に対し、事務の執行  
状況や将来の方針などに  
ついて所信や疑問をただ  
すこと。報告や説明を求  
めることです。  
3月定例会で7人の議  
員が登壇し、人口減少に  
対する取り組みや学校統  
合などについて質問を行  
いました。  
ここでは、質問と答え  
を要約した内容（13分か  
ら19分）をお知らせしま  
す。

## あなたも議会を傍聴しませんか

次回定例会

6月  
4日(火)  
14日(金)

※発行日現在の予定

5月議会臨時会  
10日(金)

議会定例・臨時会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、議会開催日に直接議場までお越しください。受付簿に氏名など必要事項を記入の上、傍聴してください。予約は不要で会議中の入退室も自由です。



すぎざき よしひさ  
杉崎 能久 議員

# ①公営塾の設置について ②つなぐカンパニー ながのはらについて

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

**①地域格差の解消を図りたい**  
**②町の魅力に気づき、町に愛着をもつきっかけに**

**問** ①公平で質の高い教育が施せるよう

行政主導で塾を運営し、学力の向上と、さらなる教育環境の整備充実を図ればと思うが町長の考えは。

②つなぐカンパニーながのはらの運営経費と効果について、どのように考えているか。

**答**

町長 ①来年度から地域学校協働活動をスタートさせる。地域の子供は地域で育てることを念頭に地域の方と共に様々な教育及び体験活動を通じて、地域格差の解消を図りたい。

②つなぐカンパニーながのはらは徐々にであるが、確実に成果が出てきていると感じる。事業成果を多くの方に知ってもらい、また興味を持って

もらうことが大事。

**問**

①子供が学校の勉強についていけない、学校以外で勉強する場所が欲しいという声を聞く。親心として子供に良い教育を受けさせたいのは当然。

だが長野原町では、塾に通わせるにも交通の便が悪い。地方と都市の教育格差を埋める意味でも行政が主体となって、子供たちの教育を全面的に支援する試みが必要。

②つなぐカンパニーは2020年の設立時から毎年事務員3名分人件費として多額の補助金と、その他事業費として990万円が拠出されているが、その収入は毎年1000〜200万前後を推移しており明らかに不採算。どのように対処するのか。

**答**

町長 ①塾ではなく、県外で国際スクールの経営に成功している法人を当町へ誘致し、その学校の2号校を設立する検討を進めている。その法人とともに群馬県モデルケースになるような教育環境を創出して、未来の人材を育てていきたい。

②つなぐカンパニーについて、予算をつけるべきか判断するのは議会。その議会での何の疑義もなく、全会一致で可決されたということは、問題なかったと考える。

**問**

①塾の設置というのは、移住者を増やすという点において副次的な効果がある。人口が少ない田舎町だが子供の学力レベルが高かったら、教育移住を検討する都会の人間は多くいると思う。画期的な教育施策を行うて欲しい。

②つなぐカンパニーには町民の方々が何を求めているのか、どのような企画なら参加したいのか、耳を傾けて欲しい。人件費として支出している多額の補助金については法律にあるように、本当に最小の経費なのか今一度検討する必要があるのでは。

**答**

町長 ①公営塾の設立は考えはないが、新たな学校設立に向けて一步を踏み出している。地域学校協働活動に関しても期待できる点が多い。しっかりと形にしていきたい。

②つなぐカンパニーに関しては、「最小の経費で最大の効果」ということだけを追求していくと、恐らくつなぐカンパニーのような組織はなかなかなければならぬことになる。つなぐカンパニーでなければ出来ない事業があり、その存在は大きい。そもそもつなぐカンパニーは議会とともに何年もかけて立ち上げた組織である。補助金を出す立場の町長として、提案、助言をしていく。

つなぐカンとは ⇒「一般社団法人 つなぐカンパニー ながのはら」のこと



# 長野原町の未来のために 人口減少に対する 取り組みについて



ほしかわ あきひこ  
**星河 明彦 議員**

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

## シビックプライドを醸成

**問**

長野原町人口推計  
2045年282  
2人2020年比55・  
4%、老年人口割合56・  
2%、生産年齢人口は  
60%減少の1079人で  
す。今まで通りの移住・定  
住施策や行政サービスの  
改善ではなく、大きな変  
革が必要と思います。町  
長のお考えを伺います。

**答**

町長 最新の地域  
別将来人口推計に  
よると長期にわたって減  
少が続き、2040年か  
ら2045年以降は、東  
京都も含むすべての都道  
府県で総人口が減少する  
と推計されており、人口  
減少対策は重点課題であ  
ると認識している。  
長野原町の未来への3  
つの挑戦①日本の教育に  
一石を投じる事②カーボ

ンニユートラルを軸に町  
を作っていく事③DXの  
積極的な推進とアナログ  
力強化のロールモデルで  
ある事。  
これを視野に入れ町づ  
くりを行う事と町民の長  
野原町へのシビックプラ  
イドを醸成していく事が  
大きなターニングポイン  
トになると考えている。  
共に創り生きる力を育む  
ことで、転出者の減少、U  
ターンや定住人口、関係  
人口の増加へも繋がって  
いくものであると考えて  
いる。

**問**

移住・定住の施策  
として①外国人の  
方を積極的に受入れる、  
その為に生活ルール、マ  
ナーなど長野原町で生活  
するために必要な基本情  
報を動画で纏める、空き

家を提供する、交通手段  
の確保など準備を進める  
事と共に、住民の方の感  
情、共生に関する取組が  
必要。

②特徴ある教育を実施  
し、賛同する家族を受入  
れる。例えば知識を高め  
る事は勿論ですが知恵を  
付ける教育に特化するな  
ど長野原町独自の取組を  
行つてはどうか。③「プロ  
モーシヨン計画」の策定、  
シビックプライドの醸成  
についての具体的な取り  
組み方は。

**答**

町長 ①外国人を  
受け入れていく話  
は賛成。まず、介護職の  
外国人の方に支援する  
という形で一歩踏み出そう  
と思つている。ポイン  
トは地域の人のマインドを醸  
成していくことだと思  
う。現状では受入れる体制が  
出来ていないという感覚  
がある、ホスピタリティ  
を育てる事が私の思う準  
備。

②日本の教育に一石を  
投じるとは、長野原町に  
グローバルスクールの誘  
致を成功させる事、先生  
や先生の家族、全国から  
募集する生徒やその家族  
など、それだけで人口増  
加が期待できる。その学  
校を卒業した人が将来長  
野原町を活性化させる  
キーマンになりうるかも  
しれない。

③プロモーシヨン、PR  
が大事であり、実行する  
には民間との連携共創共  
業がポイントとなる。人  
口減少は克服しなければ  
ならないが、人口が減少  
したとしても幸せに生き  
生きと生きて行く方法を  
地域の皆さんを含め共に  
考え創っていくことが大  
切。





つちや まさし  
土屋 匡 議員



# 町道等の美化の推進について

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

## 費用対効果を考慮し 検討していく

**問**

長野原町では、道路愛護運動等の実施により美化を図っているところである。

しかし、地区によっては世帯数の減少、高齢化等によって十分な作業ができない状況が発生している。加えて大雨による土砂の流出や落ち葉の散乱等が目立つことがある。近年、農業機械の大型化により畑の土砂の流出もある。県内には、スウィーパーを導入している町村があり、有効に活用しているとのこと。考えを聞きたい。

**答**

町長 令和3年から各地区の活動支援のため、地域環境維持管理委託料を導入し道路清掃等への支援をおこなっている。落ち葉や土

砂については、情報に基づき必要個所の清掃を実施している。スウィーパーの導入は費用対効果を考慮し検討したい。

**問**

梅花藻を知っていると知り合いから言われたことがある。自生地に行くまでの道路が落ち葉や土砂等で汚れていて、残念だった記憶がある。どう思うか。



**スウィーパーとは**  
⇒道路の汚れ、ごみを走りながら掃除する路面清掃車のこと

**答**

町長 町として、観光でPRしていくのであれば道中を整備する必要があると思う。

道路の清掃と雪かき、どちらが大切か考えてもらいたい。

新年度予算で除雪機2台を購入することが可決された。過疎債を使えることにより決断した。

今後マンパワーの問題もあるし、現在業者に依頼しているが、重機を維持・管理できないとの声もある。

各地区に補助金支援をおこなっているが、自分たちの地域は自分たちで守っていくという心を失わないでほしい。

高齢化・人の減少により、どうにもならない地区も発生している。やむをえない状況においては、行政のお金を投入しなくてはならない。

小型のスウィーパーを保有する業者がある。ひどい状況の時など実証実験的に依頼して役立つかどうか検証したいと思う。土砂がたまって住民ではどうにもならないところ

等は町として、検討させていたいただきたい。

**問**

スウィーパーの件、町が所有しレンタルする等運用方法はあると思う。飛躍するが、長野原町の小さな観光資源を愛してくれる観光客に満足していただけることも必要と思う。町道等の美化保全を検討いただきたい。

**答**

町長 観光について、町としてどこをパブリックリレーションし、プロモーションしていくか考えなくてはいい。いろいろなサービスを提供したい気持ちは同じ、ただ環境も美化も町民の皆さまの力を借りなくてはならないこと、何が町民の皆さまにとって今必要なのかを、一緒に考えていきたいと思う。



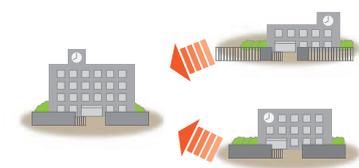
# 学校統合のメリット、デメリットについて



あさぬま かつゆき  
**浅沼 克行 議員**

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

## 今出来る最善の対策



**問** 中央小と第一小との統合から始まり、翌年には東中と西中の統合、そしていよいよ今年度には応桑小と北軽小の統合が行われ、4月には浅間小となり、当面の学校統合計画も完了いたします。いろいろな課題はあると思いますが、生徒たちは元気に学校生活を送っているように思います。現在の時点で町当局が考えている統合によるメリット、デメリットはどのようなことがあるでしょうか。お伺い致します。

**答** 教育長 学校統合と空き校舎の活用は、町長の掲げている8つの目標の1つに位置づける重要な施策であります。

中央小と第一小との統合から始まり、翌年には東中と西中の統合、そしていよいよ今年度には応桑小と北軽小の統合が行われ、4月には浅間小となり、当面の学校統合計画も完了いたします。いろいろな課題はあると思いますが、生徒たちは元気に学校生活を送っているように思います。現在の時点で町当局が考えている統合によるメリット、デメリットはどのようなことがあるでしょうか。お伺い致します。

メリットにつきましては集団の中で多様な考えに触れることができ一人一人の資質や能力を伸ばしていけるようになりました。また、コミュニケーション能力の向上と団体スポーツ競技の参加が可能となりました。一方デメリットですが、今まで規模の小さな学校の生徒が大きな規模の児童社会に入ること、生活に戸惑いを感じる児童生徒たちもいます。また、地域住民の方たちからは、子供たちの元気な声や元気に登校する姿が見られなくなり寂しいという声も聞かれます。

全ての方々に満足のいた、ただける結果とはなりません、今できる最善の対策が行なわれたと思っております。

**問** 統合後の学校生活全般については、どのような変化があるでしょうか。また、児童、子供の成長についてはどのようにお考えでしょうか。

**答** 教育長 今一番必要とされていることは豊かな学力とともに、人間関係を構築する能力と豊かな感受性・柔軟な思考が生まれる時代に、学校生活をどのような教育環境で過ごしていけるかということは今真剣に考えていかなければならないことかと私は思っております。

**問** 体育館の利活用については、どのようにお考えですか。

少子化問題は今まで以上に進んでくる中で、今後こども園、小学校、中学校のあり方についてはどのように考えているのかお伺い致します。

**答** 教育長 体育館等は、新たにルールづくりをして地域の体育館として活用していきたいと考えています。

**答** 町長 今回の学校統合の可否については、おそらく10年後20年後になってようやくわかってくることはないかと思いません。当面の統廃合は完了しましたが、これから今以上に生徒数は少なくなってくるように思われます。町内の再統合というよりも郡内全域で考えていく方向に向かっているのではないかと私は想像致します。



## 交通対策について



はぎわら ひろみ  
**萩原 広美 議員**

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

### 安全確保を第一に考え 検討していく

**問**

こども園のバスが、春から無料になると聞いた。すべての希望者が乗れるのか？春から浅間小のバスが3台8時には着く予定。そのバスでこども園児を送迎する事はできないか。

中学生のバスは、通常火曜日から金曜日は帰り2便あり、帰りの早便のバスで、クラブ活動の小中学生を乗せる事はできないか？またスクールバスによる肥満、運動能力の低下も問題視されている。国道から大屋原に向

かってすぐ両側の石垣は怖いと感じることが多々ある。今まで通学路にはのぼり旗あったが集合場所等へのぼり旗の活用は。また、大屋原1号線の狭隘部等への注意喚起が必要である。町として安全対策の考えはあるか。

**答**

教育長 こども園

設立以前（幼稚園時代）から要望のあった両こども園の通園バスの利用を小中学校の通学と同様に、一定の条件はあるが、子育て支援の一環として4月から無料で利用できるようになった。こども園は、1号認定（幼稚園籍）以外は両親の仕事開始時間に合わせの登降園となっており、登園時間がそれぞれ異なる。今は3歳児以上の希望する園児のみが利用している。

バス利用に関しても町内には児童生徒たちが参加している複数のスポーツクラブがあり、すべての要望に応えることは難しい課題。今年から地域学校協働活動事業が開始され、地域全体で子どもたちを二ーズに応じた支援ができるように進めていく。以前から要望のあった

大屋原1号線については、現在拡幅整備の調査検討を行っている。

**問**

町の立派なプールであるにもかかわらず、中央小の子供たちが29名、応桑北軽からが15名、婦恋の方が40名。送迎について前向きに考えてもらいたい。

**答**

教育長 町のプー

ルは他町村からの利用者も多く、大会で実績を残している。バスの利用もプールだけではなく、部活動の地域移行への動きも進められているので、子どもの安全を確保しながら、それぞれの機関と連携を図りながら検討していく。

**問**

子供の見守りの家所が変更になるので見直しが必要。浅間小のこども館もまだ動き出していないので、推論ですが、殆どの方が放課後こども館の利用を考えていると聞いている。

**答**

教育長 町内にあ

る見守りの家については検討いただきたい。2つの子ども館は事業者が変わり4月からスタートする。開始されてみるとわからない面もあるが、働くお母さんが多くなっているのだから、面を想定し、広く武道館等を整備した。

**答**

町長 浅間小のバ

スは、これから問題や課題が多々出てくると思います。まずは軌道に乗せることが重要。

大屋原1号線に関しては今に始まった問題ではない。何十年前前から問題視されながらも困難な要素が多かったから。しかし、ようやく光が見えて来た。入口の道路拡幅が行われるまではセンサー式の回転灯を設置するなど対応したい。（道路拡幅に関しては）お金も時間もかかるが重要な課題として捉えているので、何としてもやり遂げたい。

# 第2期町地域福祉計画、地域福祉活動計画を町づくりにどう生かして行くのか。



まきやま 牧山

あきら 明 議員

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

## 地域包括ケアシステムの 長野原モデル構築を目指し 取り組んでいく

**問**

5年ぶりの見直しとなった地域福祉計画、地域福祉活動計画では、第1期計画の実績を踏まえ各事業評価がなされた。誰もが安心して暮らせる長野原町を作っていく上で大事な計画と考える。認知症カフェ、ひきこもりサロン、福祉有償運送など、評価Aのものも18あるが、評価B以下がかなり多く、継続的に取り組むことになっている。今年度何に強く取り組み組んで行くのか。

**答**

町長 この5年間を見ると、生活支援コーナーネーターが置かれたことから、町民ニーズに沿った施策や事業の展開が行われ、様々な機関との連携も模索されつつある。事業評価A

**問**

となった施策・事業は新規事業が実現している他、少数でも、ニーズに沿ったきめ細やかな事業が実施されている。継続して各種施策や事業を実施していくとともに、社会福祉従事者の専門性の向上や人材育成の推進について注力して、みんなが安心して暮らせるまちを基本理念に、地域包括ケアシステム長野原モデル構築を目指し計画に沿って取り組み組んで行く。

**問**

平成30年度に町長が提唱した長野原町社会福祉協議会イノベーション専門委員会の後に第1期計画が策定された。5年経って福祉の計画では最上位計画に位置付けられている。社会福祉協議会を活性化させ



**問**

町民の福祉向上は地方自治体の一番重要な目標なので施政方針の中では必ず一言でも二言でもいいから触れてもらいたい。高齢者や障害を持つている人、生活に困窮している人なども含めると相当の人達が福祉の向上には期待を寄せられていると感じている。

**答**

町長 地域包括ケアシステム構築はこんな小さな町だけでできると思っていない。西吾妻地域には西吾妻福祉病院という拠点もあるので、町長として他町村にも分担や連携協力を求め声を挙げて、地域包括ケアシステムも広域での構築を考えた。

**答**

町長 今年度2回社会福祉士の募集をして試験もしているが、獲得に至っていない。令和6年度は通年で募集して行きたい。社会福祉協



ゆもと そういち  
**湯本 宗一 議員**

心配ないよ!! ひとりで悩まず、なんでも相談してね!!  
**ヤングケアラーの  
相談窓口と支援体制について**

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

**対策できるものから  
実施していく**

**問**

群馬県では昨年6月に、ヤングケアラー支援ワストッププ相談窓口が設置された。

長野原町では、この窓口につなげる支援体制、仕組みなどはあるのか。また、ラインやメール、SNSなどを活用して相談できる支援体制、制度、仕組みなどはあるのだろうか。

**答**

町長 県が開設したヤングケアラー支援ワストッププ相談窓口は、ヤングケアラー支援コーディネーターによる電話相談のほか、ライン相談やリアルタイムでチャット相談ができる体制が整えられている。

町としても、この相談窓口の周知を図るとともに、学校を通じて子供の



変化等が見受けられた場合には、要保護児童対策地域協議会の実務者会議やケース会議の中で、県の児童相談所や警察等の関係機関と連携を図りながら支援につなげていきたい。

**問**

町としても、しっかりと実態を把握し、効果的な支援が届けられるよう実効性のある仕組みの構築を図っていただきたい。

ヤングケアラーの実態把握について、町長はど

のような取り組みを考えているのか。

**答**

町長 子供たちがヤングケアラーなのかどうか。その情報をつかめる一番の場所は学校である。まずは、学校の先生、教職員などヤングケアラーの理解度を深めること。その上で、子供たちと向き合うことが一番重要なことだ。

町の保健師や民生委員の人にも力を頼ることもある。ヤングケアラーになってしまった対象者がお年寄りなのか、障害者なのか、それとも弟妹の世話なのか。それによつては当町としてもサービスできる可能性もある。まずは、実態を把握することが一番重要である。各議員からも地域の声や様々な情報を聞かせていただきたい。

**問**

改めて、県が開設したヤングケアラー支援ワストッププ相談窓口は、当事者本人や家族を積極的につなげていくよう、町の広報やホームページなどを活用し、啓発をお願いしたい。

**答**

町長 ヤングケアラーに限らずいろいろな悩みを抱えている子供たちもいるので、子供たちを救うにはどうしたら良いのか?子供たちとどう向き合えるのか?寄り添うことが重要なことだ。これからも、苦しんでいる子供たちが、皆さまの周りにいたら、その声をぜひとも町へ届けていただきたい。



# 議会の主な活動

議員や議会は何してるの?という声を聞きます。  
ここでは、議員や議会の主な活動状況をお知らせします。

## 3月

- 1日 第42回長野原町教育研究会研究発表会
- 3日 長野原町文化講演会
- 5日 長野原町議会全員協議会  
令和6年3月第1回長野原町議会定例会
- 7日 群馬県市町村振興協会評議員会議事録への署名  
長野原町社会福祉協議会理事会
- 12日 令和6年3月第1回長野原町議会定例会  
(2日目)
- 13日 長野原中学校第1回卒業証書授与式  
第8回北軽井沢連絡会議
- 14日 令和5年度スマイルボウリング大会
- 15日 応桑小学校卒業式  
北軽井沢小学校卒業式
- 18日 応桑小学校閉校式  
北軽井沢小学校閉校式  
3組協議会(環境衛生施設組合・衛生施設組合・  
西吾妻福祉病院組合)  
西吾妻福祉病院組合管理運営協議会  
にしあがつま福祉社会評議員会
- 19日 令和6年3月第1回長野原町議会定例会  
(3日目)  
災害対策特別委員会
- 20日 上信自動車道 吾妻西バイパス開通記念式典
- 21日 中央こども園修了証書授与式  
応桑こども園修了証書授与式
- 22日 中央小学校卒業式
- 26日 社会福祉協議会理事会  
第2回共同募金運営委員会
- 27日 吾妻環境施設組合第1回臨時会  
吾妻広域町村圏振興整備組合議会定例会

### 表紙の写真

令和6年4月8日に举行されました浅間小学校の開校記念式典の様子です。

## 4月

- 4日 長野原町母子寡婦の会総会  
吾妻大國魂神社奉賛会長長野支部総会
- 8日 浅間小学校開校式  
浅間小学校入学式  
中央小学校入学式  
長野原中学校入学式
- 9日 中央こども園入園式  
応桑こども園入園式
- 12日 広報編集委員会
- 13日 第12旅団創立23周年・  
相馬原駐屯地創設65周年記念行事
- 18日 ASAMA PEAKs お披露目会



▲応桑小学校閉校式



▲北軽井沢小学校閉校式

## 編集後記

菜の花畑に蝶が舞いあそび、春爛漫の季節を迎えました。ピカピカのランドセルを背負い元気に学校へ行く新一年生。真新しいスーツに身を包み希望を胸に新たな一歩を踏み出した新社会人の皆様。輝く皆様が、それぞれの天地で活躍されることを祈ります。

本年4月からは浅間小学校が開校し、町の教育環境が新たなスタートを切ります。町議会としても心新たににより一層、町の諸課題に真摯に向き合い、町民の皆様の心により添えるよう尽力して参ります。

昨年4月に新たな議会体制となり、町民の皆様にご支援・ご協力いただいたこと改めて感謝申し上げます。

今後とも皆様の声に耳を傾けながら議会活動に精進して参ります。

湯本 宗一

### 広報委員

委員長	
委員	富澤 重男
星河 明彦	
土屋 匡	
湯本 宗一	